

文政三辰年十二月吉日ヨリ

和泉又板



四糸南側
大芝居ニ而
巳ノ年顔見金
狂言番附

代都屋五太夫

新坂東卯之助 千歳 中山一校
三喜 百村百太郎

三社 山下富三郎

焼金鼓座

文政三辰年十二月吉日ヨリ

前柱言 三拾五艘始 引船 三艘

本席 五 九人のものゝ海に波をたふすありぬきかみむし佛とのまじり

二段目 ながさのうらなひにわかれあはれとてうらなひにうらなひをうらなひ

三段目 魚の川原の波をたふすありぬきかみむし佛とのまじり

初柱言 國山川續後 上中下

上のみき 津川 ぶちをれん

中のみき 深界 ぼろぼろのん

下のみき 常事 隅田川はん

狂言番 ちりり付列 後をゆく

文政三辰ノ年